

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 住宅政策と空き家対策について ①空き家対策への取り組みを伺う。 ②まなび宿いわみにし（旧石見西小）の 2 階の活用を伺う。 ③林業アカデミーの学生が入居する住居についてどのように考えているか伺う。 2. 日南町の特色ある教育について ①「非認知能力」を中心とした教育の成果を伺う。 ②日南町の子供たちの目指す教育を伺う。 ③教育長は海外派遣事業で帰国した生徒から何を学ばれたか伺う。 ④認定こども園の芝生化の目指す教育を伺う。	1. ①令和 4 年度から、山里 Load にちなんと連携し空き家、移住対策に取り組んでいる。令和 5 年度から補助金事務の一部を委託し、より一元的に移住定住対策を推進していく。 ②まなび宿いわみにしの 2 階は、全て郷土資料館の展示室及び収蔵庫として活用している。なお、同建物 1 階は、一部を町営住宅、それ以外を郷土資料館として活用している。 ③林業アカデミーの学生のための宿舎は必要であるとの認識は変わらない。財源は、森林環境税を活用する方針。 2. ①子どもたちの学習意欲や他者とのコミュニケーション力の向上、学校行事や児童会・生徒会活動などにおける自主的・主体的活動の活性化などが見られる。 ②日南町教育大綱、日南町教育振興基本計画、園・小・中一貫教育目標に定められている理念や目標に向けて取り組んでいる。 ③「経験させることの大切さ」と「やる気の大切さ」である。実際の体験や生徒のやる気が大きな成果につながった。今後も、子どもの主体性を大切にし、多くのことを経験させ、挑戦を支えていきたい。 ④子どもの育ちにとって環境は重要であり、芝生化は、園の環境を改善する取り組みである。芝生化によって子どもたちがこれまで以上にのびのびと駆け回りながら遊び、多様な遊びを通して育っていくようにしたい。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

高橋 洋志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 町外者向けのたったもカードについて ①みどりのたったもカード加入状況及び加入の促進の取り組みについて伺う。	1. ①5月末時点、町外者向けたったもカードの発行数は175名。今後、町外者向けイベントも予定しており、更なる利用促進に努めていく。
2. こども園から中学校まで ①教育方針について伺う。	2. ①日南町教育大綱、教育振興基本計画に基づき、「令和5年度日南町教育委員会の重点目標」を作成し、今年度の重点方針を定めている。
3. 農業政策について ①所得拡大に向けての取り組みについて伺う。	3. ①生産性、品質向上、コスト削減のためのスマート農業の推進、有機農業などの高付加価値化、また6次産業化などに取り組む。
4. 道路維持管理について ①道路の消えたセンターラインへの対応について伺う。	4. ①予算の範囲内において、必要性の高い箇所を順次選定して計画的に対応している。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 養豚農場について ①町として今後どのような取り組みをされるのか伺う。	1. ①町は、事業者への情報収集のほか、地域住民や県との情報共有や必要な調整等を行っていく。
2. 地域おこし協力隊について ①今年度のすべての地域おこし協力隊の募集計画に対し、採用状況はどのようになっているのか、特にふるさと納税と社会福祉協議会の隊員について伺う。	2. ①令和 5 年度、15 名の新規地域おこし協力隊を募集し、現時点で採用が確定し、町内で活動している隊員は、農業研修生の 4 名。ふるさと納税は年齢上限を撤廃し継続募集中。社会福祉協議会「地域ボランティアコーディネーター」は、報酬を引き上げて募集を行いたく、今定例会で補正予算計上している。
3. 老人クラブについて ①クラブ数が年々減少傾向であるが、どのような認識をされているのか伺う。	3. ①町内の老人クラブ数は、高齢化の進展等により、5 年前と比較して 3 団体減少し、現在 15 団体である。老人クラブは健康増進や仲間づくりなど地域で支え合う基盤であり、豊かな地域社会づくりに必要不可欠な存在であると認識している。
4. 副町長の所信について ①4 月に就任され 2 ヶ月が経過したが、多くの課題について今後どのように取り組まれるのか、所信を伺う。	4. ①当面する課題が山積しているが、決して悲観せず前向きに乗り越えていくとともに、問題解決の方策・戦略を町民の皆さんと一緒に考えて、迅速に行動していきたい。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 農地及び集落維持の取り組みについて ① 耕作者の高齢化と使用機械の老朽化等により農業をリタイヤされる方が後を絶たない。集落営農を担う法人も限界を感じている現状について認識を伺う。 ② 農協のライスセンターも老朽化が進み近いうちに廃止されるのではと話があるが、その真偽と将来起こりうる課題としてどう捉えておられるか伺う。 ③ 所得向上のためスケールメリットを追求し、産地を前面に出した販路開拓をする上でミニライスセンターの公設民営も必要と考えるが見解を伺う。 ④ 神戸上のライスセンター建設の経緯と、現在の利用状況について伺う。 ⑤ 農村型地域運営組織（農村RMO）の推進による、集落活動維持の取り組み強化について見解を伺う。 2. 地域おこし協力隊について ① 地域おこし協力隊の応募状況と受け入れ協力法人の状況は。 3. 認定こども園のパート従業員の待遇について ① 短時間保育補助のパート従業員に対する交通費の考えを伺う。	1. ① 労働力不足や高齢化の進展など農業、農村を取り巻く環境は非常に厳しいものと認識。将来の農地利用などについて話し合いを重ねる。 ② 老朽化した設備の整備を続けながら維持を進めており、JA がすぐに施設を廃止することはないが、将来に向けて関係機関と意見交換の場が必要であるものと認識。 ③ 現時点で、公設民営をする考えはないが、今後のあり方について議論を検討する必要がある。 ④ 平成元年から地元農家組合が JA から委託を受け、管理運営を行っている。また、昨年度の利用は約 30 軒と聞いている。 ⑤ 農村 RMO の推進は一方策ではあるが、行政の押し付けになってはいけない。町としては、まずは農村 RMO についての PR に努めたい。 2. ① 令和 5 年度、15 名の新規地域おこし協力隊を募集し、現時点で採用が確定し、町内で活動している隊員は、農業研修生の 4 名。活動支援団体についてはチャレンジ A 型が 3 社、インターン型が 1 社の登録となっている。 3. ① 短時間保育補助のパート職員は、通勤日数に応じて支給することと定めており、通勤日数の少ない職員には現在、交通費の支給は行っていない。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

荒金 敏江議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 带状疱疹ワクチン助成について ①3月定例会で、前向きに検討すると回答しているが、検討状況を問う。	1. ①今定例会の補正予算に計上しており、議決いただき次第、带状疱疹ワクチン希望者への助成事業を開始する。
2. 公共交通について ①外出支援の対象を、要支援、要介護認定、身体障害者手帳などを持っている人に限定しているが、介護予防事業対象者も加えるべきだと考えるが、どうか。 ②デマンドバスの運行回数が少ないので、タクシーを利用してきたという声がある。運行回数を増やすべきだと考えるが、どうか。また、ドア・ツー・ドアに移行されたが、家の近くでの乗り降りができない家がある。乗降場所決定の基準を示すとともに、改善を求める。 ③利用者アンケートに、デマンドバス予約の電話対応に不満をもつ意見が多数寄せられているので、改善を求める。 ④朝夕はデマンドバスがなく、路線バスだけになる。路線バスの運行が無い地域、バス停から遠く離れた地域では、移動の手段がなく、時間的にタクシーも使えない。せめて、18時30分まで、デマンドバスを運行すべきだと考えるがどうか。伯備線・日野病院行きバスとの乗り継ぎが便利になるように工夫されたい。	2. ①要介護・要支援認定に至っていない事業対象者を一律に対象者へ加えることは、現時点では考えていない。 ②現在のダイヤは確保できる最大限の運行回数で運行を行っている状況。乗降場所の基準については、運行車両が進入可能で、かつ乗降時の安全が確実に確保できることが必須。利用状況を分析し車両の小型化について検討する。 ③アンケート結果については委託事業者とも共有し改善に努める。 ④朝夕は小中学生の通学を兼ねた大型路線便を運行しておりドライバーも兼ねているため現状、朝夕のデマンド化は困難。伯備線、日野病院行きバスについても最大限接続可能なダイヤとなるよう考慮しているが、小中学生の通学便を兼ねているため全ての要望に応えることができていない。
3. ごみ減量化について ①グリーンドリーム計画（第4次環境基本計画）「循環型地域社会づくり」に、「ごみの減量化とリサイクルの推進」が計画されている。可燃ごみに含まれる資源ごみ分別の徹底、家庭の生ごみを減らす取り組み、が必要と考える	3. ①「日南町ごみの分別表」を今年度見直すようにしている。また、ちゃんねる日南や町広報誌等を活用して、分別についての広報・PRを行っていく。

が、どうか。 ②プラスチックごみの資源化に対する方針を問う。 4. 西部広域ごみ処理施設建設について ①処分場予定候補地が決定されたとの広報があったが、自治会が反対しているとの情報がある。西部広域ごみ処理施設建設計画の状況説明を求める。 ②プラスチックごみも燃やして、その熱を利用するサーマルリサイクルの大型焼却炉を作る計画だが、今は認められなくなったごみ処理方法に固執する必要があるのか。グリーンドリーム計画と矛盾するのではないかと考えるが、どうか。 5. 日南病院療養型について ①来年度から療養型の体制が変わるが、在宅で介護する家族にとって、ショートステイは必要とときに必要な期間利用できることが不可欠である。あかねの郷を含めた十分な体制を作るべきと考えるが、どうか。	②現在は、資源ごみとして軟質プラスチックを収集している。令和 14 年からは硬質プラスチックの資源化に向け検討していく。 4. ①処分場予定候補地が決定し、自治会へ丁寧な説明をしていくと聞いている。 ②プラスチック資源循環促進法施行に伴い、今年度プラスチック類の有効な処理方法の検証が行われる予定である。 5. ①来年度から介護療養病床を廃止し、全て医療療養病床とするが病棟の体制に変更はなく、ショートステイの運用についても従来通りの対応となる。受け入れ体制に支障が生じないよう町としても日南福社会と更なる連携、協議を進める。
--	---

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 日南病院の再任用訴訟のその後について ①高裁で病院側の敗訴が確定した。元職員への謝罪などその後の対応を問う。 ②今後、職員の再任用について病院としてどのような対応をとるか問う。 2. 物価高騰対策について ①チャレンジ企業支援補助金に省エネへの機器更新に関する補助メニューを創設することだが、具体的にどのような内容で補助を行うのか問う。 ②これまでの値上げに加え、6月から中国電力が電気代を26.1%値上げする。また燃油、肥料などの価格も依然として高騰している。事業者に対して値上げ分を直接支援してはどうか。 ③事業者以外の住民も様々な物価の高騰に苦しんでいる。上下水道料金の値下げやたったもカードのスペシャルポイントの付与など個人向けの支援をもっと手厚くしてはどうか。 3. にちなん十色の延長保育について ①保護者から延長保育を求める声が寄せられているが、延長保育を実施する考えがあるか。 ②延長保育を実施するにあたり、にちなん十色の職員の体制に不安はないか。正職員を増やす必要はないか。	1. ①高裁での判決に従い、既に賠償額等の支払いは済ませている。以上をもって本事案の対応は終了した。 ②令和 2 年以降の定年退職者には、希望通りの対応を行っており、今後も条例に準拠した運用を行う。 2. ①町内企業の省エネ化にかかる 20 万円以上の設備・機器等の更新や新設・改修費用等に対し、対象経費の 1/2 の額を 100 万円を上限として補助し、経営の安定化に寄与する。 ②県が予定している LP ガス料金の支援対策等の動向を踏まえつつ、町としても効果的な支援を実施できるよう検討を進める。 ③直近では物価高騰への対策として、令和 4 年度末にスペシャルポイントを全町民に対して付与した。今後の状況を注視しながら、必要な時期に効果的な支援ができるよう検討を続ける。 3. ①今年度中に実施できるよう、保育時間延長のための実施体制等を検討しているところである。ただし、子どもの最善の利益は何かということを考えることが必要である。 ②現職員体制で実施する方向で、勤務シフト等を検討しているところである。なお、正職員及び会計年度任用職員は今年度も募集している。

4. マイナンバーカード保険証について ①月末時点での日南町のマイナンバーカード取得率と、日南病院での保険証としての使用件数を問う。 ②他人の医療情報がひもづけられていたり、オンライン資格確認ができないなど重大なトラブルが全国で報告されている。マイナンバーカード保険証を住民に安心して使ってもらえるといえるか。 ③紙の保険証が廃止された場合、あかねの郷などで入居者のマイナンバーカードとパスワードを預かるのか。職員に過度の責任を負わせることにならないか。 5. インボイスについて ①町の一般会計、特別会計、事業会計から課税仕入れを行う事業者があるか。町はインボイス制度に対応しているか。 ②町が事業者へ発注する場合、インボイス登録をしていなくても取引から排除されることはないか。 ③道の駅などの施設で町内の事業者の品物を販売する場合、インボイス登録していない事業者の品物も販売できるのか。その場合、施設側が消費税をすべて負担するのか。 6. 佐木谷の養豚場について ①養豚場を再開するとして、地元住民の合意を得て協約書を締結できる見込みがあるのか。 ②新しい事業者のファロスファーム(株)の汚水処理技術について、町は十分な情報を持っているか。例えば、西伯農場、名和農場などでの汚水処理方法について町は十分に把握しているか。	4. ①5 月末日時点、日南町のマイナンバーカードの取得率 76.4%。また、日南病院での保険証使用件数(4,5 月使用分)は延べ 32 人。 ②マイナンバー制度はデジタル社会の推進に欠かせない。国はチェック体制を整え、国民が安心して利用できるようにすべき。 ③詳細不明であり、今後の国の動向を注視し、必要に応じて国に働きかけていく。 5. ①簡易水道事業、下水道事業、再生可能エネルギー発電事業など課税仕入れを行う事業者がある。また、町はインボイス制度に対応しており、10 月の開始に向けて準備を進めている。 ②排除することはない。 ③道の駅では、委託販売となっているので、施設側が消費税を負担することはない。 6. ①協約書締結に向けて、必要な働きかけや調整を行っていく。 ②事業者から情報収集を行い、把握している。
---	---

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 農業施策について ①町長は農林業従事者の所得向上を公約として掲げられているが、今後4年間で具体的に取り組む農業施策について伺う。 ②農業の人手不足（担い手不足、働き手不足）が急速に進み深刻な状況となっている。どのような手段で解決していくのか伺う。 ③優良農地の確保は農業生産、農業経営の基本的条件であるが、小規模な農地においては有効活用も進まず、やむなく遊休農地となっているのが現状である。この問題をどのように認識し、その解消及び有効活用を図る取り組みを実施するのか伺う。	1. ①生産コスト低減や生産技術の向上に向けた支援を継続しながら、生産物の高付加価値化や販売価格を上げる取り組みを検討する。 ②スマート農業の推進による省力化や、研修生制度の充実やショートタイムワークの活用などによる人材確保と魅力発信に努めていく。 ③小規模、条件不利農地の遊休化は認識しているので、地域が自ら将来を考え、自ら前向きに取り組んでいけるよう関係機関と連携して支援する。
2. 公共交通について ①ドア・ツー・ドア型デマンドバスの運行において、乗降場所が希望に添えていない利用者数を伺う。 ②小型車両の導入、地域での運行受託方式、町営タクシーの導入などにより利便性の向上を図るべきと考えるがどうか。 ③予約アプリの運用に向けてのスケジュールについて伺う。	2. ①道路状況等により、現状 52 件についてご自宅前の希望に添えていない。 ②利用状況を分析し、小型化できる路線については随時車両更新を検討し利便性向上に努めていく。 ③スマートフォンでの予約システム導入を希望される声が多く寄せられるようであれば導入を検討していく。
3. 情報化施策について ①今年度の携帯基地局設置スケジュールと来年度に向けた基地局整備について伺う。 ②マイナンバーカードに関連するトラブルが発生し、コンビニでの証明書の誤交付や「マイナ保険証」ではマイナンバーが他人の情報と紐付けされるなどの問題が起きている。町	3. ①現在、国、各キャリアと協議中。来年度についても要望を行っており、引き続き交渉を進めていく。 ②現在、日南町でトラブルについて報告は受けていない。ご不明な点があれば、役場にご相談いただくとともに、町でも必要に応じて注意喚起等を行っていく。

ではこのような事案が発生していないか伺う。 ③AI（ChatGPT等）は住民サービスの向上や業務の効率化につながることを期待されているが、活用についての検討をされているのか伺う。	③DX 推進チーム会議において説明会を実施した。現時点では活用について具体的な検討は行っていないが、職員の業務改善、住民サービス向上につながるよう DX チーム内で協議を進めていく。
---	--